施工説明書

化粧鏡・棚付化粧鏡

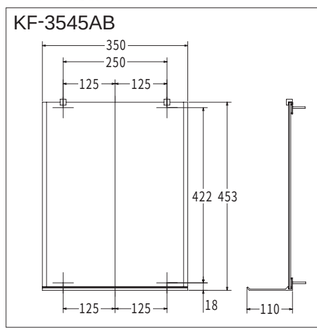
KF-5070AC

KF-500AC

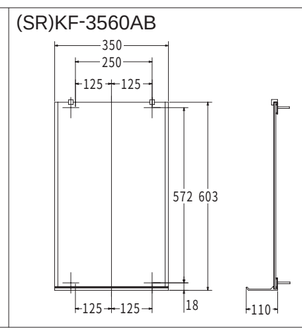
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書をお客さまにお渡しください。

●商品図

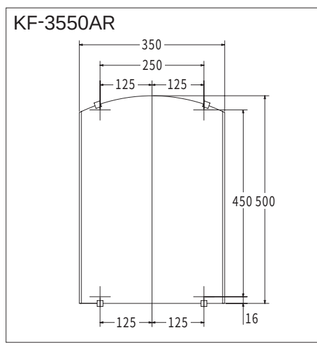
KF-3545AB



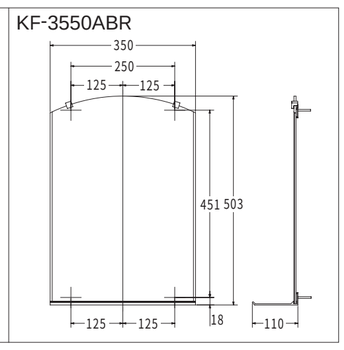
(SR)KF-3560AB



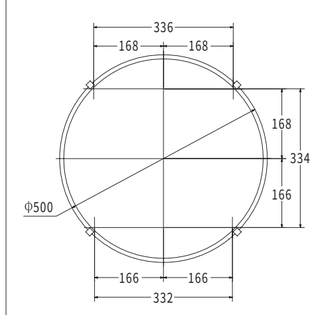
KF-3550AR



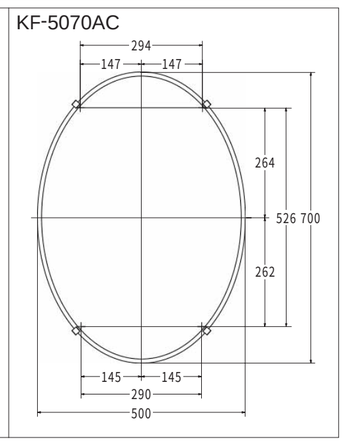
KF-3550ABR



KF-500AC



KF-5070AC



※取付高さ詳細については工事用図面集をご覧ください。

●同梱部品

部　品　名	KF-3545AB	(SR)KF-3560AB	KF-3550AR	KF-3550ABR	KF-500AC	KF-5070AC
鏡	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚
上部止金具（長穴）	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ
下部止金具（丸穴）	—	—	2ヶ	—	2ヶ	2ヶ
化粧棚	1ヶ	1ヶ	—	1ヶ	—	—
取付ビス	4ヶ	4ヶ	4ヶ	4ヶ	4ヶ	4ヶ

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

注意……「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

❗……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⃠……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

⚠注　意

鏡が破損しないよう、取扱いには十分注意してください。 ※鏡が割れてケガをする恐れがあります。	❗
不陸が5㎜/2mを越える場合は施工しないでください。 ※不陸があるまま施工すると鏡がひずんで破損し、ケガをする恐れがあります。	⃠
必ずこの施工説明書の指示どおりに施工してください。 ※誤った施工をされた場合、器具が破損したり、外れたりして、ケガをする恐れがあります。	❗
必ず付属のステンレスビスを使ってください。 ※他のビスを使用した場合、錆びて、鏡が落下する恐れがあります。	❗
KF-3545AB、(SR)KF-3560AB、KF-3550ABRの化粧棚には、アルカリ性の洗剤等を使用しないでください。 ※化粧棚はアルミ製でアルカリに弱く腐食して、鏡が落下しケガをする恐れがあります。	⃠
別売プラスチックプラグとの組み合わせ設置はしないでください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	⃠
取付部の厚さがKF-3550AR、KF-500AC、KF-5070ACは5.5㎜以上、KF-3545AB、(SR)KF-3560AB、KF-3550ABRは20㎜以上になるように取付木（補強木）を設けてください。 ※取付木（補強木）は柱または間柱に固定してください。	❗
棚にガラス類などのわれ物や硬い物をのせないでください。 ※破損や落下によるケガの恐れがあります。	⃠

●施工前のご注意

●落下事故防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件をお守りください。

[乾式壁の場合]

●取付部材として同梱のタッピンねじを使用してください。
●石こうボード等のボード張りにはタッピンねじはききません。必ずあらかじめ壁裏に取付木を入れ、取付部の厚さを確保してください。
●ボード張りの厚さは12.5㎜を越える場合は、越えた分だけ長いタッピンねじを別途用意してください。

[湿式壁の場合]

●取付部材として別売のAYボルトを使用してください。
●下地材はコンクリートとし、取付部の奥行は50㎜以上（コンクリートの厚さは30㎜以上）を確保してください。
●壁仕上材（モルタル、モルタル＋タイル等）の厚さは20㎜以下としてください。厚さが20㎜を越える場合は越えた分だけ長いAYボルトを使用してください。
●ALC板やコンクリートブロックの中空部にはAYボルトは固定できません。
●木ずり下地、ラスボード下地への取付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に取付木を入れ、必要なねじ込み深さを確保し、取付部材としてタッピンねじを使用してください。

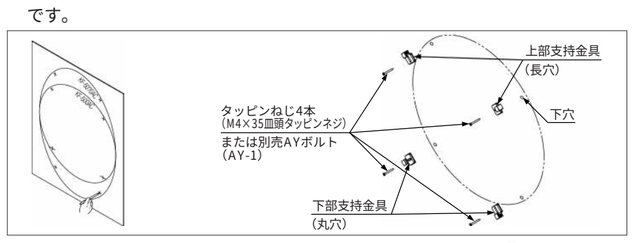
●日光や殺菌灯が直接当たる場所へ取り付けないでください。
※変色する恐れがあります。

●施工方法（この施工説明書が取付台紙になっています。）

1. 位置決めと下穴加工

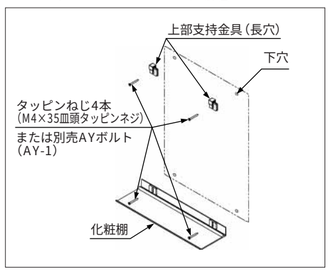
[KF-500AC、KF-5070ACの場合]

①鏡の取付位置を決めます。
②決めた位置に中心線が水平になるように取付台紙を張り、下穴位置をマークしてください。
③取付台紙を取り外し、マーク位置に下穴をあけます。下穴径はφ3（深さ35㎜）です。



[KF-3545AB、(SR)KF-3560AB、KF-3550AR、KF-3550ABRの場合]

①鏡の取付位置を決めます。
②商品図の下穴位置寸法を参考にして、現物あわせで下穴位置をマークしてください。
※化粧棚付の場合、棚が水平になるようにしてください。
③マーク位置に下穴をあけます。下穴径はφ3（深さ35㎜）です。
※下穴位置がずれると鏡が取り付かない恐れがあります。



2. 下部支持金具（丸穴）の固定

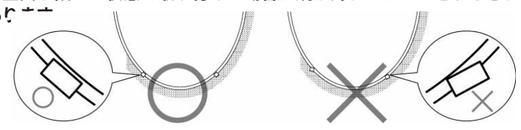
下部支持金具（丸穴）をタッピンねじでしっかり固定します。
※丸鏡、楕円鏡の下部支持金具（丸穴）の角度は取付台紙に印刷されている角度に合わせてください。

⚠注　意

上部支持金具（長穴）と下部支持金具（丸穴）を逆に使用しないでください。
※支持金具を逆に使用した場合、鏡が外れて、ケガをする恐れがあります。 ⃠

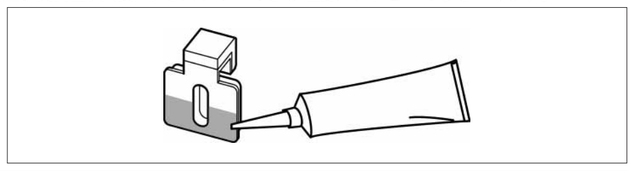
⚠注　意

下部支持金具（丸穴）はまっすぐに取り付けてください。
※支持金具が傾いた状態で取り付けた場合、鏡が外れて、ケガをする恐れがあります。 ❗



3. 上部支持金具（長穴）の固定

①上部支持金具と壁が接する部分の下半分にシール材を塗布します。
②上部支持金具（長穴）をスライドできる程度にタッピンねじを締めます。



⚠注　意

シール材を塗布したらすばやく施工してください。
※シール材が乾いてしまう恐れがあります。 ❗

4. 鏡の固定

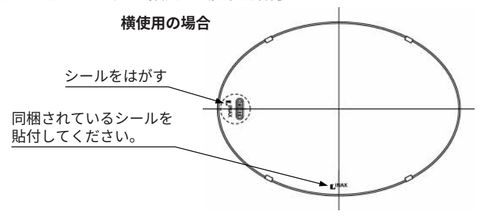
鏡の施工前に、鏡裏面の離型紙をはがしてください。
①上部支持金具（長穴）を最上部までスライドします。
②正面から鏡の下部支持金具（丸穴）または、化粧棚に差し込みます。
③鏡を壁面に合わせます。
④上部支持金具（長穴）を下へスライドさせて鏡を固定します。

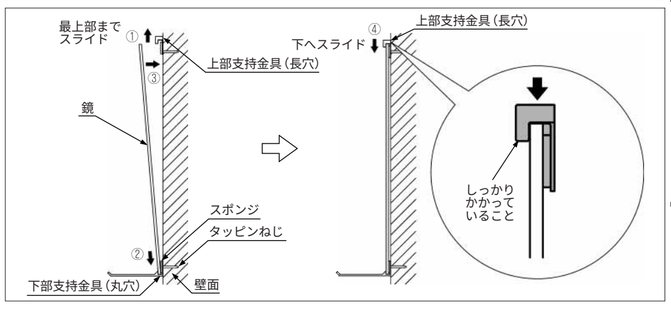
⚠注　意

上部支持金具（長穴）はしっかりと下までスライドさせて鏡を固定してください。
※支持金具のスライドが不完全な場合、鏡が外れて、ケガをする恐れがあります。 ❗

KF-5070ACを横使用する場合、施工完了後にすでに貼付されているシール（INAXロゴシール・防錆鏡シール）をはがし、同梱されているシール（INAXロゴシール）を指定の場所に貼付してください。 ❗

横使用の場合





株式会社 INAX

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター　商品相談窓口
ナビダイヤル TEL 0570-017173

受付時間　平日　9:00～19:00
土日・祝日10:00～18:00
（年末年始、夏期休暇は除く）

※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などご利用できません。
TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

PSZ-1027(08034)